

OPT NETWORK



機中、富士を望む

'96 Summer [夏号]

通巻9号

1996年7月(季刊)発行：光交流会

光交流会はオプトエレクトロニクスに興味をもつ人々が光情報の交換の場として1988年に設立した異業種交流団体です。企業規模の大小やメーカーが商社かと言った業態、企業人が学者かと言った職業に関係なく、自主性と積極性を持つ会員により構成されています。立場や利害を越えて光産業に係わる様々な立場の方々が出会い、語らい、学び合う場所です。ここに集う人々が日本のみならず世界の光産業の健全な発展に寄与し、世界の人々におおいに貢献することを願いつつその一条の光となるよう皆様のご理解とご参加をお待ちしております。

視 点

光研工業株式会社

代表取締役 村島 雅司

思えば、22歳の4月、夢を胸一杯に膨らませて、颯爽と社会にデビューしたのだった。ところが会社の諸先輩達の様子を見ていると、時間内は生活残業に追われ、また、仕事時間外では昇級や昇給および退職金の話ばかりです。更には、定年退職されて生き甲斐を失った人たちの無念の顔を知るに至って、人生に虚しさを感じました。当時、それ程仕事に熱心であった私ではありませんが、命ある限り社会の一員である事が如何に大事かをおぼろげに感じた次第です。そこで、定年の無い仕事はないだろうかと模索し、初めは商店主か社長令嬢との結婚はないものかと安易な事も考えましたが、それもまた退屈そうなので、独立を考えました。そして、世の中を知るために、営業関係の仕事を探すべく就職欄を見ているとき、光学機器を扱う商社が目に入りました。



光交流会メンバーと筑波山にて(筆者：右端)

これだ、直感がし再就職しました。そこで、大企業が進出し難い多品種少量製品、且つ将来性のある製品と言うことで、現在のモノクロメータに出会うことができました。商品は見つかりましたが、会社の興し方が分らず、友人3人と共同経営からスタートし、そして、S47年に単独での独立を始め、陽の届かない深海でもがいている内に、早、20年が過ぎ、漸く通常の会社のスタートラインに辿り着いたとき、時期尚早かと思いましたが、関社長のご好意で光交流会に入会でき、皆様方にお会いできたことを幸せに思っております。



平成7年12月第82回

忘年会

筑波山登山と大洗1泊旅行

昨年暮れの忘年会は、快晴に恵まれた12月16日(土)17日(日)の両日に亘り光交流会初の1泊旅行を敢行。出席者数はいまいちというところでしたが、非常に中味の濃い忘年会となりました。

初日は、9時半に筑波山つつじヶ丘に、各自クルマで集合。筑波山の最高峰：女体山に登頂しました。宿泊は海に面した大洗磯崎神社前のレストランホテル「魚来庵」。こじんまりしていますが、たいへん明るいきれいなホテルでした。

今回は業界の大手団体である光産業技術振興協会の刈本氏が、光関連の中小企業育成のための企画が新たに始動するという事で特別参加され、当方も関代表幹事を中心に、怠たんのない意見交換が行われました。刈本氏は、その後もオブザーバーとして定例会などにご出席いただいていることは、皆様もご存じのとおりです。懇談会のあとは、海の幸を肴に酒宴となり、会の今年の反省や来年へ向けての抱負などを話し合いながら暮れにふさわしい穏やかな宴会へと移って行きました。

翌日は、北へ15分ほど足を延ばして、那珂湊の魚市場で生きのいい魚を買い込み、更に有志は笠間の窯元に立ち寄り陶器造りにチャレンジしてから帰途につきました。盛りだくさんの充実した2日間でしたが、今回は是非多数の皆様の出席を期待しております。

(文：川澄 英明)

平成8年1月第83回定例会

石英ガラスの世界のお話し

本年最初の定例会は、1月24日 ココリサーチホールにおいて日本石英硝子株式会社の葛生伸氏による「石英硝子の種類と諸特性」の講演会で幕を開けました。葛生氏はつい最近「石英ガラスの世界」という本を出版したばかりで、タイミングの良い企画でした。本の内容もイラストを豊富に配し、平易な文章で大変判りやすく書かれています。

講演の内容も又然りて、結晶とガラスの構造の違い、普通のガラスと石英ガラスの違い、石英ガラスの特性、限りなく透明な性質は光ファイバーとして最高の素材であることなど順を追って、文字どおり「石英ガラスの世界」を紹介してくれました。

知ってるつもりで、ここは石英ガラスでなけりゃと、結構あちこちに使っていた我々はこれからはもっとその特徴を生かしながら活用して行けうな気になりました。もう一度葛生さんの本を、読み返しておこうと思います。

(文：川澄 英明)

平成8年2月第84回見学会

日本カメラ博物館訪問

トウゴカメラやサットン・パノラマカメラをご存知ですか。

かつて光学機器の輸出検査を行っていたJICC(財団法人日本写真機光学機器検査協会)が4000台の所蔵のカメラの内、代表的なカメラを展示し、一般公開しています。この博物館を光交流会として2月21日に見学してきました。

世界最古の量産カメラである「ジルー・ダゲレオタイプカメラ」を始め、明治時代からの現代までの日本の歴史的カメラが多数展示されていました。同博物館の平尾拓也さんの時代ごとの特徴の解説付で、大変興味深く見学できました。また併設のフォトサロンで絵葉書展を見学。

その後、会場を会議室に移し同協会の青柳聖治先生より「検査よもやま話」として輸出検査を行っていたころのよもやま話をうかがいました。(文：関 英夫)



平成8年3月第85回見学会

ELIDによる超精密加工技術

新しい研磨技術に驚嘆、理化学研究所の見学。

「次世代の光学部品加工を目指して」の講演会は、3月2日板橋区加賀の石神井川沿いにある理化学研究所板橋分所で開催されました。講師は素形材工学研究室の研究員で工学博士の大森整氏。テーマが我々には身近な加工技術に関するものだけに、30名を超える参加者数となり、熱心にメモを取りながらの聴講となりました。

この技術は、メタルボンド超砥粒砥石による電解インプロセスドレッシング(ELID)鏡面研削法と呼ば

れるもので、回転する砥石の回転軸にプラスと砥石表面にマイナスの電極を置き、クーラント(液)をかけながら電解による砥石面の砥粒の制御を行いながら、ワークの研削、研磨、スーパーポリッシングなどを行う技術です。用いる加工機は、成形研削盤、非球面加工機、超精密平面研削盤などであり、加工される素材は硬い炭化ケイ素をはじめ、ガラス、セラミック、鉄、プラスチックなどです。砥石のメッシュを上げながら大きな鏡面を一気に仕上げってしまうこの技術は、参加者全員が目を見張りました。神戸に設備されるシンクロトロンのためのX線用の反射ミラー(直径:150cm)がこれから製作されるということです。

なお、このELID研削法は生まれて5年、普及途上にある段階だそうで、世界が注目しているとのことでした。

(文:川澄 英明)

平成8年4月第86定例会

日本の光学の歴史

光技術の草分けから

以前にも「日本の光学の歩み」という講話をいただいた尾関 萬里先生にお願いし、4月17日の例会では「日本の光学の歴史」と題して、これまた先生独特の話し方で貴重な歴史的事実を御話しいただいた。中でもレンズ設計の常套手段として知られるランゲの式の生みの親であるランゲ博士は日本光学の前身である藤井レンズ製造所が高性能潜望鏡を国産化するためにドイツから招いた技師であったということや、その陰には

国家予算の半分近い額が軍用にあてられていたという話は強く関心を惹いた。これらの情報源は多くの資料や、当時そのレンズ計算に従事されていた方から直接に聴取されて調べられたもので、今回の話し自体、非常に貴重なもので、2時間近いお話が30分程度に感じられるほど興味深いものであった。

(文:山形 康文)



(写真中央)

平成8年4月第87定例会

1/fのゆらぎ

自然の風を作り出す扇風機で有名になった「1/f」の理論と製品化に付いて講師をお招きし、2時間に渡り、たっぷりとお話していただいた。人類を含め地球上の生き物すべてが生きていく上で一番安心できる「1/f」下の環境がスライドとテープの実演つきで開発の動機から技術的な解説までわかり易く単なる技術論にとどまらず、人生観にまでおよぶ話でした。

(文:関 英夫)

新 会 員 紹 介

ホロニクスインターナショナル(有)

登録代表者 代表取締役 高橋 邦明
247 神奈川県鎌倉市植木436-1-805
TEL.0467-47-8629 FAX.0467-47-8629

業務内容

日米文化を体験した強みを生かした人的交流の中からビジネスチャンスを生み出す。常に感性を研ぎ澄ますとそこから何か火花が起きる。

取り扱い品目

バイリンガルビジネスコンサルティング

(得意分野 光学、物理、真空等)

光学部品、光学システムの輸出入(主に米国)

ジョイントベンチャー、ライセンス契約等のパートナー探し等。

(株)オプトロンサイエンス

登録代表者 代表取締役 田中 康夫
113 東京都文京区湯島2-13-25 和光ビル6F
TEL.03-5800-1341 FAX.03-5800-1342

取り扱い品目

バーコード、光ファイバセンサ、LD/ PDモジュール、電子部品、コンピューターケーブル、LAN機器、各種センサの開発

(株)ときわ光学

登録代表者 社長室長 糸永 正俊
174 東京都板橋区前野町1-11-9
TEL.03-3960-8491 FAX.03-3965-1551

業務内容

各種光学オプトロニクス機器に使用されるレンズ、プリズム等の材料、成形品、研磨品を取り扱っています。更に上記製品に対するお客様の幅広い要望にお答えすべく、金物組み立て品を試作の段階から協力しております。また単レンズ、直角プリズム、プラスチックレンズ、プラスチック成型品は当社の関連会社トキワフィリピンでも要望にお答えしております。

取り扱い品目

各種光学材料(加工品含む)、単レンズ(各種形状、最大900)シリンダリカル、プリズム(直角、偏角、ダブ等)、ミラー(角型平面、円形平面、凹面)、ビームスプリッター(平面、キューブ、偏光)、プラスチックレンズ(凸、凹、ガイド光レンズ、非球面)、平面加工、金物及び組み立て

協同電子システム(株)

登録代表者 常務取締役 尾内 和彦
224 横浜市都筑区池部町4900-1
TEL.045-932-2400 FAX.045-932-7885

業務内容

当社は、エレクトロニクス、メカトロニクス、ソフトウェアの融合技術による電子計測器及び自動検査装置の製造メーカーです。

又、カーエレクトロニクス、モデム、ハイビジョン、LAN等の情報機器に付いても製造販売を行っております。

取り扱い品目

FDD, HDD, MO等のコンピューター用外部メモリー装置の評価試験装置の製造販売、各種計測器の製造販売、メカトロニクス装置の製造販売。

(株)ケンコー

登録代表者 特機営業部営業四課 渋谷 敏
177 東京都練馬区上石神井1-18-11 (田中ビル2F)
TEL.03-3929-3413 FAX.03-3929-1637

業務内容

ケンコーの工業用フィルターやCCTV、マクロレンズ等の工業用レンズは産業界の各分野にて画像処理、検査用途に用いられています。また各メーカーからのご依頼に対し、幅広い商品構成と開発技術力にて対応させていただいております。

取り扱い品目

工業用フィルター

(シャープカット、バンドパス、赤外透過、etc)

CCTVレンズ

(監視用、マクロ用レンズ、モーターズーム、バリフォーカル)

照明光源及び、ライトガイド

CRTフィルター、エアダスター。

防水カメラケース

各種OEM光学系(液晶プロジェクションレンズ、etc)

三葉光機製作所

登録代表者 社長 荒川 健一
164 東京都中野区南台2-30-10
TEL.03-3381-6187 FAX03-3381-6822

業務内容

1949年の創業以来、光学一筋。

光学機器の試作と設計

光学技術のコンサルタント業務では1994年からピーター

・ホール氏と提携しています。

各種レンズの研磨もしています。

取り扱い品目

顕微鏡用対物・接眼

レーザー用光学部品
その他の光学部品

高木電線(株)

登録代表者 代表取締役 高木 貢一
110 東京都台東区4-5-12
TEL.03-3834-4471 FAX.03-3835-0090

業務内容

弱電用電線を主とした販売
ワイヤーハーネスの受注販売

取り扱い品目

各国規格電源コード、電源コード、CCDカメラケーブル、フックアップワイヤー
特殊電線

(株)タナカ技研

登録代表者 専務取締役 田中 弘伶
368-01 埼玉県秩父市小鹿野町1658
TEL.0494-75-2424 FAX0494-75-1734

業務内容

コンピュータのHDDのヘッドの加工を行う会社です。フェライト、硝子、レンズ、セラミック等微細加工、鏡面加工を手がけています。

取り扱い品目

コンピュータのHDDコンポジットタイプのヘッドの加工
CD-ROM等、ハーフミラー、プリズムの加工
マグネットの加工
光電子素子等の加工

光
交
流
会
ス
ケ
ジ
ユ
ー
ル

7/24(水)第89回定例会

「乱数を使った照明
シュミレーション」

8/21(水)第90回懇親会

9/18(水)第91回定例会
「事業化プレゼンテーション」

光産業は、様々な要素技術の積み重ねで発展しています。光産業に携わる人々も当然、様々なビジネス形態に係わっています。光交流会はこれらの方々が出会い、学び合い、語り合う場を提供するオープンフォーラムです。是非一度覗いてみてください。きっと新たな発見とビジネスチャンスが生まれると思います。皆様のご参加をお待ちしております。

入会
のお勧め



Opto-Electronics Partners Association

光交流会事務局 C/Q(株)NABA 代表幹事 関 英夫
〒153 東京都目黒区目黒2-1-14 野村ビル2F
Tel.03-3792-5890 Fax.03-3792-5937